

解体工事において、仕上塗材にアスベストが含有している場合は、飛散を防止する対策が義務付けられています。

# 人や環境に優しい環境配慮型剥離剤 コンステックAGリムーバー

## ■ 製品概要

コンステックAGリムーバーは、**生分解性100%**の材料を使用した、塗材を膨潤させて除去することができる環境配慮型の剥離剤です。一定期間で生分解され無害化することから、学校・病院などの安全環境の持続性が必要な建物に最適です。

## ■ 特長

### 1. 非塩素系

強臭で毒性の高いジクロロメタン(塩化メチレン)を含まない非塩素系剥離剤です。ジクロロメタンを含む剥離剤と比べて**低臭で皮膚への刺激が低い**塗膜剥離剤です。

### 2. 高い環境性能

生分解性の材料を使用しており、土壌に付着した剥離剤は**バクテリアによって無害化**されます。

### 3. 湿潤性

湿潤性を維持しやすい設計としているため、剥離塗膜からの**アスベスト飛散を防止**します。

### 4. NMP非含有

シックハウス症候群の原因にもなる**NMP** (リスクアセスメント対象物質) や、有機溶剤中毒防止規則(有機則)の対象となる**有機溶剤を含みません**。

### 5. 高塗着性

極めてダレにくく、広げやすいために作業性が良好です。**厚く塗着することで湿潤状態を維持しやすく、アスベスト含有仕上げ塗材の除去使用に最適**です。

### 6. 剥離性

既存塗膜を溶解させるのではなく、**軟化・膨潤させることで簡便かつ容易に剥離**できます。

## ■ 施工手順 ※施工方法の詳細は、施工仕様書をご参照ください



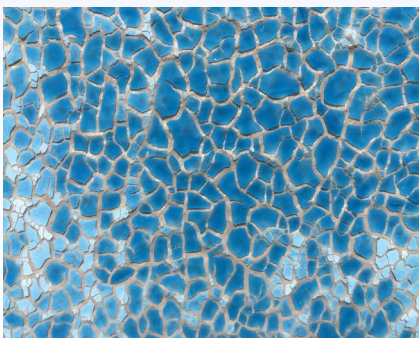
開封(希釈・攪拌をしない)



塗布(色によって塗布の有無が容易に分かります。)



軟化・膨潤するまで放置



塗膜が膨潤



剥離・除去



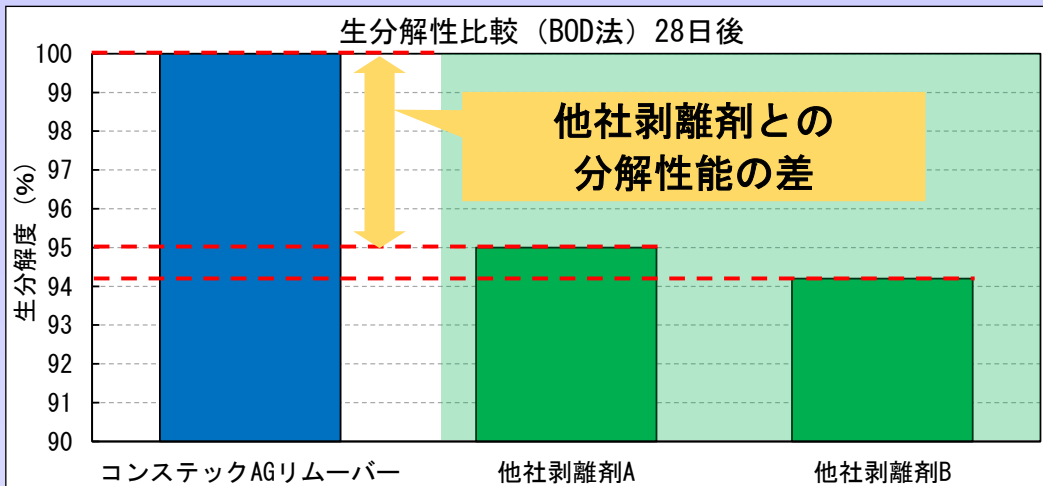
完了

# 性能

## ●生分解性試験 (BOD法)

OECD化学品テストガイドライン301C BOD法生分解度試験に準拠

## ●各種規制に対する適合



有機溶剤中毒予防規則	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
PRTR法	非該当

コンステックAGリムーバーは、  
**試験開始から14日目で**  
**100%分解**しました。

他社同等製品と比べても  
生分解性が高く、人や環境への  
安全性が高いと考えられます。

# 適用塗膜

建築用仕上材	土木・鋼材・建築用塗料
薄塗材 (リシン等) 複層塗材 (アクリルタイル等) 厚塗材 (アクリルスタッコ等) 防水形塗材 (弾性タイル, 単層弾性等) 等	OP, SOP, ふっ素樹脂系塗料, アクリル樹脂系塗料, フタル酸樹脂系塗料, エポキシ樹脂系塗料, シリコン樹脂系塗料, ウレタン樹脂系塗料, 等

# 建築用既存塗膜の種類別の塗付量と放置時間(23℃)

既存塗膜の種類	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> )	放置時間 (hr)
外装薄塗材E (アクリルリシン)	0.3~	6~12
防水形外装薄塗材E (単層弾性)	0.5~	12~24
複層塗材E (アクリルタイル)	0.5~	12~24
複層塗材RE (水系エポキシタイル)	1.0~	24以上
防水形複層塗材E (弾性タイル)	0.7~	12~24
外装厚塗材E (アクリルスタッコ)	1.0~	24以上
塗料系 (ウレタン系, エポキシ系など)	0.2~	3~6

(注) 上記の各数値は、全て標準のもので、塗膜の種類、膜厚、劣化の程度、気象条件等により異なります。予めテスト施工を行い、軟化の程度、塗布量、放置時間などを確認・決定して下さい。

# 注意事項 (剥離剤)

### 【施工上の注意事項】

- ＜環境＞
1. 施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上または結露の発生が考えられる場合、外部の施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
  2. 施工時は換気を十分に行ってください。
- ＜施工＞
1. ゴム・プラスチック類は軟化・膨潤するため、対象以外の箇所を養生してください。
  2. 施工面周辺 (車や付帯設備を含む) や床などに汚染や損傷を与えないように、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
  3. 施工途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、剥離剤に水分が当たらないようにしてください。
  4. 必ず使用前に既存塗膜の種類、膜厚、劣化状況などの事前調査を行い、剥離剤との適性を確認し、塗付量、塗回数、塗付後の放置時間などを確認・決定してください。
  5. 材料は希釈せず使用してください。
  6. テスト施工で決定した塗付量及び放置時間を守って施工してください。
  7. 材料を取扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- ＜保管＞
1. 直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。
  2. 開缶時は確実に密栓し保管してください。
  3. 容器を転倒させる、落下させるなど粗暴な取扱いはしないでください。
  4. 材料を保管する場合は、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。

(荷姿はNET16kg/缶(16.8リットル)です。)

### 【安全衛生上の注意事項】

1. 製品の取扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS (安全データシート: IJMSDS) を参照してください。
2. 適切な保護具 (保護手袋, 保護眼鏡等), 防毒・防塵マスクなどを着用してください。
3. 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
4. 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
5. 皮膚についた場合は、多量の水と石鹸で洗ってください。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断を受けてください。
6. 粉じん, 蒸気, ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
7. 取扱後は手洗い, うがいを十分に行なってください。
8. 日光から遮断し, 換気の良い場所で保管してください。
9. 合成樹脂などの電気絶縁性の床で材料の保管や取扱いをしないでください。また、導電靴や帯電防止の服を着用してください。
10. 開封後, やむを得ず保管する場合は密栓して冷暗所で保存し, 速やかに使い切ってください。
11. 保管場所, 取扱い場所とその周辺には, 塗装中, 放置中, 剥離中共に, 熱, 火花, 高温体のような発火源を遠ざけ火気厳禁としてください。特に塗装後の放置過程では蒸発面積が広がるため, 引火性の高い蒸気が発生する恐れがあります。注意してください。
12. 火災時には, 炭酸ガス, 泡または粉末消火器を用いてください。
13. 缶の取手は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあり危険です。絶対に行わないでください。
14. 子供の手の届かない所に保管してください。
15. 素地及び塗装器具を洗浄した汚水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので, 関連法規を厳守の上, 産業廃棄物として処理してください。